

杉並総合高等学校 令和4年度 教科 理科 科目 科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位

対象学年組：第2学年（22R、23R、24R、25R、26R）

使用教科書：（科学と人間生活 〔啓林館〕）

使用教材：（ 啓林館 サンダイヤル科学と人間生活の学習ノート ）

	指導内容	科学と人間生活の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	序章	・科学技術の進歩・発展を、情報・通信技術を例にして理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	2
	生物と光 A 植物の生育と光	・植物が光合成によって有機物をつくることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	3
	B ヒトの視覚と光	・視覚が環境について多くの情報を与えてくれることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	2
5月	C 動物の行動と光	・光に対する動物の行動を理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	4
	食品と衣料 A 食品の科学	・生命を維持して日常生活を営むのに必要なエネルギーを、食物から得ていることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	5
6月	B 衣料の科学	・衣料材料の性質や用途について理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	6
	A 太陽系の中の地球	・太陽系の構造と地球について理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	5
7月	振り返り	主に1学期期末考査までの復習	定期考査	1
	B 太陽と人間生活	・太陽からのエネルギーと人間生活について理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期考査	3
8月				

	指導内容	科学と人間生活の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	C 天体の運行と人間生活	・天体の運行と人間生活の関連を理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	3
	これからの科学と人間生活	・遺伝子の研究の発展と人間生活 生命活動の最小単位は細胞であり、生命活動を支えているものがDNAであることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	5
10月	これからの科学と人間生活 S G D s   	環境問題について触れる。21世紀になり笑われを取ります環境が悪化していることをりかいさせる。地球温暖化や生物多様性についてとりあげる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	6
11月	これからの科学と人間生活	遺伝子の研究の発展と人間生活 生命活動の最小単位は細胞であり、生命活動を支えているものがDNAであることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	5
12月	振り返り	主に2学期期末考查までの復習	定期考查	1
	これからの科学と人間生活	遺伝子の研究の発展と人間生活 生命活動の最小単位は細胞であり、生命活動を支えているものがDNAであることを理解させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	2
1月	これからの科学と人間生活	遺伝子の発現によって生命活動が調節されていることを遺伝の現象例に理解を深めさせる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	4
2月	これからの科学と人間生活	身近な遺伝の解析を進めながら、人間生活を送るうえで科学的な知識が重要であることを意識させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	4
3月	振り返り	主に3学期末考查までの振り返り	定期考查	1
	これからの科学と人間生活	身近な遺伝の解析を進めながら、人間生活を送るうえで科学的な知識が重要であることを意識させる。	観点：内容を理解し、様々な事象について考察できるか。 方法：小テストや問題演習及び定期 考查	4